

まつやまトーク

市政のかじ取りをめぐって2年が経ちました。与えられた任期のちようど折り返しになります。これまで「一人でも多くの人を笑顔を」の思いで、公約の実現に向けて走り続けてきました。現場・現地を大切に、皆さんの声をお聴きし市政に反映していくためのタウンミーティングをはじめ、

松山市長 野心 亮仁

～一人でも多くの人を笑顔に 全国に誇れる、わがまち松山～

1. 13 第1回タウンミーティング実施(五明地区)
2. 15 子宮頸がん等ワクチン接種費用の全額助成開始(写真①)
2. 20 「だから、ことば!! 大募集2010」表彰式(写真②)
3. 10～31 新・防災マップの全戸配布
3. 26 北条スポーツセンター体育館落成式
4. 1 市暴力団排除条例施行市消防団女性分団を発足
4. 2 子規記念博物館開館30周年記念式典
5. 11 第1回小中学生スクールミーティング実施(たちばな小)
6. 17 園庭の芝生化開始(坂本幼稚園)
7. 13～18 姉妹都市提携30周年 米国・サクラメント市を訪問(写真③)
7. 16 鹿島の渡船・駐車場・周遊船料金値下げ社会実験開始
7. 25 第1回中学生英語暗唱コンテスト実施
8. 7 地域交流センターリニューアルオープン
9. 1 小学1～3年生の入院費(保険診療分)無料化開始
10. 22・23 えひめ・まつやま産業まつり
11. 1 危機管理担当部を新設
11. 4～6 道後温泉旅館協同組合・台北市温泉発展協会友好協定を調印
11. 16 東京ヤクルトスワローズ松山秋季キャンプ3年の継続契約締結
11. 18 水道管路管理センター完成式典
11. 23 市長と語る若者会議
3. 1 市ホームページ・市長へのわがまちメールリニューアル
3. 12 松山を舞台とした台湾ドラマ「アリスへの奇蹟」制作発表会(写真④)
3. 24 まちコミュスポッてくるんオープン
4. 1 島しょ部航路運賃の助成開始
4. 2 西消防署に特殊消防隊 隊「まつやまだん団プロジェクト(消防団員応援事業)」スタート
4. 2 可燃ごみ収集時の音楽を「松山市の歌」に変更(写真⑤)
4. 2 市幹部職員の顔写真を市庁舎に掲示
4. 13 「子ども自転車ゴールド免許証」の交付(番町小)
4. 19 ベルギーに観光俳句ポスト設置
4. 27 歌手・五木ひろしさんを「松山うたのこころ大使」に任命
5. 8 成育コミュニティ・ボランティアの活動に関する協定書の締結
6. 23 中学生対象学習会「土曜塾」開講
7. 2 福祉総合窓口を開設
7. 21 プロ野球オールスターゲーム開催
7. 23～8. 30 通学路の安全点検(小学校49校)(写真⑥)
8. 31 だんだん松山プロジェクト開始
9. 21 自主防災組織結成100達成記念式典
10. 6 野球歴史資料館「の・ボールミュージアム」リニューアル
10. 25～11. 4 花園町通りで社会実験
11. 10 風早レトロまつり

お問い合わせは、企画政策課 ☎948-6341 ・ ☎934-1804へ

市政特集 笑顔広がるまちへ 全力投球



市内最大の道路幅員を有する、誇れる市民の宝・花園町通りで行われたにぎわい創出事業

野志市長が「一人でも多くの人を笑顔に全国に誇れる、わがまち松山」をキャッチフレーズに掲げ、市長に就任して2年。任期の折り返しを迎えることから、7つの公約の進捗状況についてお知らせします。(11月15日現在)

「誇れる」まちの長所を活かし笑顔に 松山の魅力を全国へ

▲経済効果約13億円といわれるプロ野球オールスターゲームが、地方球場では初となった2回目の開催

▲市長自ら松山の魅力や情報を発信する「トップセールス」。まつやま農林水産物ブランドのPRや中四国周遊型の旅行商品を提案

▲修学教育旅行の積極的な誘致活動を展開中。平成23年度は51校が訪問し、本年度は53校が訪問予定

▲市長自ら松山の魅力や情報を発信する「トップセールス」。まつやま農林水産物ブランドのPRや中四国周遊型の旅行商品を提案

▲大都市圏の百貨店で「せとか」PR

「誇れる」地域の宝を磨き笑顔に 松山を元気に

▲瀬戸内海をテーマに、広島地域と松山・愛媛の資源を組み合わせた旅行の定着を目指す「瀬戸内・松山」構想を進め、中四国周遊型の旅行商品が大手旅行会社を中心に誕生

▲これまでない瀬戸内をテーマとする旅行商品が続々と登場

▲昭和の賑わいを求めて鹿島やJR北条駅前通り周辺など、北条地域の活性化を目指す「風早レトロタウン構想」。イベント当日は平日の交通量が約80人から約3,100人に増加

▲島しょ部の持続的発展と活性化を目指す「愛ランド里島構想」

▲かざはや楽市・北条駅前夜店祭り

▲交流人口の拡大や地域産業の振興を図る里島めぐり

「誇れる」子育てで笑顔に 子育てを応援!

▲中心市街地の空き店舗を活用した「まちなか子育て・市民交流センター(まちコミュスポッてくるん)」は、保育・託児室や多目的交流スペースなどを備えた子育て支援や市民の交流拠点

▲開館216日で利用者5万人を達成した「てくるん」

▲子どもの運動能力やコミュニケーション能力を高めようと、平成23年度からスタートした芝生化事業。すでに幼稚園・保育園・小学校など8カ所で実施

▲全国で初めての取り組みとして松山赤十字病院が養成する「成育コミュニティ・ボランティア」が、モデル校の東雲小学校に派遣され、児童や教職員、保護者をサポート

「誇れる」福祉・医療で笑顔に 笑顔の源は市民の健康

▲島しょ部住民の負担を軽減するため、通院・透折治療・妊婦健診の際、フェリー旅客運賃を助成

▲市民の健康増進のため、生活習慣病の正しい知識の普及啓発や特定健診および各種がん検診の受診率向上を目指す「健康診査呼び掛けるラッピングバス」

▲妊婦の虫歯や歯周病の予防、乳幼児への虫歯菌感染予防を目的に、歯科健診を無料で受診できる「個別妊婦歯科健康診査」

「誇れる」行政サービスで笑顔に 市民の声をできるだけ早く

▲地域の皆さんと市長が直接対話する「タウンミーティング」。これまで41地区中、34地区で実施し、平成24年度末までに全地区で開催予定

▲指定管理者制度が導入された北条スポーツセンター

▲施設・業務管理の民間委託などでは、平成22・23年度で約11億7,000万円、指定管理者制度では、施設直営時と23年度決算額を比較すると約9億5,000万円の経費削減効果

▲市役所別館1階に設けられた福祉総合窓口

▲高齢者や障がいのある人たちの負担軽減と利便性の向上を図るため、保険や福祉に関する105業務の申請届け出や総合的な相談ができる福祉総合窓口

「誇れる」ことばで笑顔に ことばの魅力を発信中!

▲コミュニケーション能力の向上を図る「市長とともに!響きあう言葉で創るスクールミーティング」。これまでに15の小中学校で開催

▲ベルギー・ブリュッセルに本市の俳句ポストを海外初設置。ヘルマン・ファン・ロンバイ欧州連合大統領が自作の俳句を投函

▲過去最多の31都道府県がエントリーした第15回松山「俳句甲子園」。羽田空港で地方大会を開催。「第34回サントリー地域文化賞」を受賞

▲国際化社会にも対応できるように、中学生英語暗唱コンテストや中学生英語力レベルアップ事業を実施

▲英語暗唱コンテスト

「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に 「いつか」に備えて災害に強いまちへ

▲市内全域に765の自主防災組織が結成(結成率100%)を達成。地域防災力強化のため、防災士を養成し、自治体別では日本一の1,550人。うち、教職員163人が新たに資格を取得

▲自転車の安全な乗り方を小学生に楽しく学んでもらおうと、プールなど市有施設の利用料金割引の特典が付いた「自転車免許証」を交付

▲平成23年度から第2次小中学校校舎耐震化事業を6年前倒しして順次、実施。学校施設の耐震化率は11月1日現在、84.0%

▲防災士養成講習

▲耐震工事が行われた中学校舎